

●小幡地区



2月4日(火)午後7時
町公民館 参加者39人

〔現況について〕

Q 現在は合併協議会を設立する前の段階ですが、なぜ任意合併協議会に入れないのですか。

A これまで富岡町合併協議会研究会が9回開催され、1月には任意合併協議会を設立するための準備会が設置されました。任意合併協議会への参加については、懇談会や住民アンケートを行い、住民の皆さんの意向を見極め、議会と協議してから入りたいと考えています。住民の声を反映することが前提となります。

〔メリット・デメリット〕

・住民アンケートについて

Q 住民が判断するには、合併の利便、メリット、デメリットを

細かくてもらうことが必要だと思いますが。

A 現状では合併後のことは解からないので、メリット、デメリットは明確には言えないと思います。

Q 合併は時期早尚だと思えます。懇談会に集まった人は小人数、来ない人は、メリット、デメリットは解からないと思えます。アンケートをしても答えが出せないと思えます。人口も15,000人であり合併を急ぐことはいらないと思えます。

A 広報で合併問題の説明を掲載してきています。町は熊野町より環境整備がされていると考えています。アンケートで住民の皆さんの声をお聞きしたいと考えています。アンケート結果で比率が大きいものに方向付けることも言い切れません。

Q 住民と相談する時間が欲しいので即合併は反対です。合併後、武者行列やさくらマラソン大会などができなくなると思えます。合併特例債も借金だと思えます。

A 今後は皆さんのご意見を聴いて、アンケートを行い議会と相談して進めたいと思えます。合併特例債の償還については、国が7割補てんすると言っていますが、国も7割を先回り借金があります。全国のはほとんどの市町村が合併

した場合の果が守れるか不安もあります。地方交付税は、全体的に少なくなる傾向ですがどの位減るか見当が付きません。

Q 合併で考えなくてはならないのは、日常生活でのメリット、デメリットで、税金、国保、水道料金、教育費などがどうなるのかだと思えます。町がこうした資料を提供して、アンケートをした方がよいと思えます。

A 今は任意合併協議会設立の準備会が設置されたところで、任意合併協議会の場で、税金、サービスの違いなどをどうしていくかを考えていくことになりそうです。こうした問題を具体的に検討するのが任意合併協議会です。

Q 一番身近なメリット、デメリットを挙げて、事務局長が良く考えて、解かりやすいアンケートを行ってほしい。

A 住民の皆さんが判断しやすい時期に、町長、議会と相談し実施したいと思えます。

〔財政について〕

Q 子どもの授業を考えると、借金地盤はやめてもらいたい。合併する前にやるべきことを研究してもらいたい。

A 毎年8億くらい借金を返済しています。本年も繰上償還しながら、来年度は5億圓

住民が判断するための
具体的な材料とは？
具体的な将来像とは？



くらいの手算を見込んでいます。我慢するところは我慢していきたいと思っており、借金を次世代に残さず健全財政を若い人に引き継ぎたいと思っています。町には特別な財源はないので、皆さんの税金を大切に使い財政運営をしてきています。

〔合併の枠組み等について〕

Q 合併はしないほうが良いと思えますが、地方交付税の減少等により合併するすれば、大きい合併を考えた方がよいと思えます。協議合併は対等合併ですが、多数決で決まるため主導権が大きいところになっています。職員も合併により差が生じています。どうしても合併が避けられなければ大型合併を希望します。